

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	道明 伸幸		
授 業 科 目	服飾材料学		科目区分	専門科目	2 単 位
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・後期
授業の主題 目 標	<p>アパレル企画、製造の現場をはじめ、消費者と接する販売、消費者相談の現場など、アパレルに関わるあらゆる立場において、服飾材料に関する基礎的および実用的知識が不可欠である。服飾材料の性質は服飾繊維学で学んだ繊維そのものの性質と、この科目で学ぶ繊維集合体としての性質によって決まる。この科目では繊維集合体としての糸や布の製造方法と、構造ならびに性質および消費性能を学びつつ、繊維製品を扱う上で関係する自然科学的現象を考える。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに（繊維集合体の構造と性質） 2. 糸の分類と構造 3. 布の分類と製造（織物） 4. 布の分類と製造（編物） 5. 布の分類と製造（不織布、皮革など） 6. 布の加工と構造 7. 被服材料の性能（保温性、通気性） 8. 被服材料の性能（吸水性、吸湿性） 9. 被服材料の性能（力学的性質） 10. 被服材料の性能（外観的性質、風合い） 11. 繊維製品の品質表示 12. 品質管理と品質保証 13. 繊維製品の試験法と消費者クレーム 14. アパレルと工学 15. まとめ・試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	島崎恒蔵 編著『衣服材料の科学[第3版]』, プリント				
準備学習の 具体的内容	事前にテキスト等の該当箇所をよく読んでおくこと。				
評価の方法 基 準	試験 (80%) 受講態度 (20%)				
履 修 上 の 注 意	なし				